

子どもたちに
理科の楽しさを

やってみよう
たのしい
かがく



2020年12月

理科実験グループ 活動報告

DIRECTFORCE

理科実験グループ

2020年 理科実験実績見込み

	2019年	2020年	
• 実験回数	182回	71回	39%
• 延べ参加人数	8492名	2718名	32%
• DF参加者数	1547名	499名	32%
• テーマ数	22	23	

- * 延べ参加者数、DF参加者数の比率が、少ないのはコロナ下の対応で制限されている影響

* 12月の数値は、実施計画書による

2020年の活動状況

- 10月28日 定例会
 - コロナ対応備品の追加購入
 - コロナ対応を含め詳しい実施報告
 - 8月定例会以降、近況報告の時間を継続中
- 11月24日 定例会
 - GL&SGLの交代承認
 - 組織運用の一部変更
 - ゆめ基金下田プロジェクト
 - 風力発電ビク抜き型紙採用承認(5万円以上)

2020年ふり返り コロナ対応

- 2月28日 理科実験グループのコロナウイルス対応について(決定)
3~6月理科実験実施回数 0件
- 通常のDF理科実験のスタイルを変更して対応
- コロナ感染予防対策(マニュアル)策定し対応中
 - ・マスク・検温(前日&当日)・手指消毒
 - ・ポータブルマイク、非接触体温計、指し棒
- 実験プログラムの対応
 - ・小先生と子供との接触を減らす
 - ➡ 子供が大先生の説明だけで自分で実験できるよう改訂
 - ➡ アニメーションや図によって、子供にも分かり易いものとなった

コロナ対応で分かってきた事

コロナ下では大先生だけで理科実験できるのが望ましいという要望を受けての気づき。

◆小先生の役割の重要性

- ・既往症等で自粛をされる方も多い中、理科実験を継続実施できる小先生(EL,TLもこなす方も含む)層の厚さが、DF理科実験を支えている
- ・手練れの小先生が、ELやTLの予備軍となっている

◆原点に帰って、DF理科実験を見直す

- ・大先生と小先生の連携で理科実験を体験させ、興味と驚きを伝えるDF理科実験の良さを見直し、原点に帰って、今後の課題検討を進めるべきと思料

GL & SGL交代について

GL & SGL交代(2021/1月予定)を提案し、
11月度定例会で承認された。

＜2021年 新体制＞

GL 酒井 ← 関口

SGL 松尾 ← 酒井

よろしくお願ひします。